

S-RED 通信

社会・地域創発本部 Society-Region Emergence Department

10年後のありたい社会像の実現に向けてー イノベーションジャパン 2022

10/14、JSTとNEDOが主催するイノベーションジャパン2022内の文部科学省セミナーにて、COI-NEXTの複数拠点がオンラインのワークショップを開催しました。こころとカラダのライフデザイン共創拠点は、「あなたが考える少子化対策とは?」「子どもの頃、何があれば選択肢が広がったか?」をテーマ



に、参加者と様々な意見を交わしました。その結果は、グラフィックレコーディングによってイラストにまとめられました。

イノベーションジャパン2022はオンラインにて10月31日まで開催しています。COI-NEXTの活動も紹介していますので、下記URLまたはQRコードからぜひご覧ください。

URL: <https://innovationjapan-jst-nedo.jst.go.jp/>



高校生の視点から地域課題に取り組む 岩見沢東高校『GANTO ゼミ』始動

岩見沢市内の企業などを訪問して、事業を取り巻く状況から地域課題と解決方法を探る『GANTO ゼミ』に参加した岩見沢東高校の2年生が、10/4、2か月にわたる調査結果を発表しました。「総合的な探究の時間」の一環として本年度から始まったGANTO ゼミは、社会人との交流を通じて生徒の積極性や主体性をのばすことが狙いです。

北大 COI-NEXT の吉野正則 PL が代表を務めるエンプラスラボ合同会社を訪問した生徒5人は、職場訪問での意見交換を通して「色彩選択とジェンダー意識」をテーマに選び、学術論文を読みこんだり、岩見沢市内の各イベントで、200名に潜在的なジェンダーに関するアンケート調査を行ったりして、精力的に調査を進めていきました。

同グループは学内発表会で、「色彩選択には幼児期から親の影響が見られる」ことや、「女性は男性より色で判断する傾向があるが、男性は習慣や見た目で判断する傾向がある」などの調査結果を発表しました。メンバーの1人は、「調査の過程で出てきた子世代と親世代で異なるジェンダー意識の検証や、若年層のジェンダー意識を地域に伝える仕組みづくりの検討は、来年度のGANTO ゼミに引継ぎたい。」と話しました。

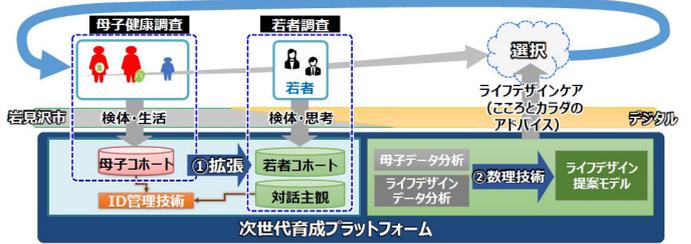


数理技術を駆使して、自分らしいライフデザインができるまち・社会へ

北海道が直面している少子高齢化や人口減少、地域経済の低迷、地球温暖化などの社会課題の解決に挑戦するため、株式会社日立製作所が北海道大学のキャンパス内に開設した日立北大ラボ。北大 COI 食と健康の達人拠点を通じて、岩見沢市で実施した母子健康調査などの産官学地域連携プロジェクトでの実績をもとに、2022 年度からは北大 COI-NEXT ころとカラダのライフデザイン共創拠点（以下、拠点）で、ライフデザインプラットフォームの開発に取り組んでいます。

課題5:次世代育成プラットフォームの開発

- 課題① 全世代を対象としたデジタルコホート利用のためのデータベース構築
- 課題② ライフデザインモデル構築：数理技術で分析技術からライフデザインケアに発展



データピースの組み合わせで、ありがたい未来図を構築する

拠点では、5つのテーマに沿って、多くの研究者や参画機関が共同で研究を行っています。日立北大ラボのラボ長代行主任研究員を務める竹本享史氏は、拠点の研究開発リーダーの1人として、データサイエンス・数理技術の分野からその取り組みを支えています。

持続可能なまちづくりや、市民が健康でいられる生活、自分らしく幸せに生きられる社会、誰もが活躍できる社会を実現するには、拠点で実施する全ての研究開発を連携して、そこから得られる大規模データを収集・解析するための、健康データを統合したデータベースの構築が必要不可欠です。これらのデータに、データサイエンス・数理技術を駆使してアプローチすることで、個々のライフデザインに応じたライフイベントの提案が可能になるプラットフォームが構築され、地域や市民に「人間中心のサービス」を提供することができるようになります。

多様性が成果を生み出す

国籍や年齢、性別が様々なスタッフで構成されている日立北大ラボ。多様性は、日々の研究に刺激を与え、新しいアイデアが生まれる土壌をつくれます。また、博士課程を卒業したばかりの研究者たちを積極的に採用し、若い世代の発想力や課題発見・解決能力が最大限に生かせる環境を整えています。拠点での産官学地域連携の取り組みで得られるノウハウや成果を応用し、持続可能な地域社会の実現に向けた地域課題解決モデルをここ北海道で構築し、全国・グローバル展開をめざしていきます。



竹本 享史

北大 COI-NEXT ころとカラダのライフデザイン共創拠点
研究開発課題リーダー
日立製作所 日立北大ラボ ラボ長代行主任研究員

VOICE

北大キャンパス内に日立北大ラボが設立されてから、早いもので7年目となりました。従来の共同研究の枠組みを越えた産学官連携の下、北海道の課題解決に向けて母子健康ケア、地域エネルギーなど様々な取組みに挑戦させて頂き、皆様から多くの学びを得て充実した研究活動を送っています。COI-NEXTでは、企業研究者の立場から数理科学を軸に、人生の選択肢を広げ、自分らしく生きるためのライフデザインサービスの創生に挑んでいます。難しいテーマですが、実現に向けて皆様との議論・共創が不可欠と感じており、今後ともよろしくお願いたします。

今後のイベント（予定）

11/5 emmy fes 0.9 in 岩見沢

12月中旬～後半 参画機関会議

2023/3/18 emmy fes0.9 in 小樽

S-RED 通信バックナンバー

S-RED通信

